

あまでうす

《あやかし》

第3回

ここを訪ねたときは、新緑の鮮やかな初夏であったが、春と秋には、また違った趣のある景観を、堪能することができるのである。

宿に到着し、出迎えてくれた60代と思われる女性は、家内だと紹介された。若い頃は、さぞかし美人であっただろう、その容姿からも想像できる。「よくおいでくださいました。お疲れでしょう。」

さあ、どうぞ中へお入りになってお寛ぎください」と、景色が一望できるロビーへと案内された。

まりがないので、失礼ながら尋ねてみると、以前は地元の観光バスガイドをしていたということだった。昭和を感じるソファに座り、出されたお茶とお菓子を頂きながらしばらく寛いでいると、奥さんが、我々を2階の一番奥の部屋へと案内してくれた。

荷物を置き藤椅子に座ると、正美が「さつき、玄関に置いてあったこの宿のパンプレットを見らんやが、ランプの宿ちゅうのは聞いたことあるんやけど、妖の宿ちゅうのは、ほんとの名前やないらしいで」「ん？どう言うことだ」と訊くと「ここには、行燈の宿と載ってるがな」「どおりで、この部屋に入ったと

きに、何で行燈が置いてあるのかなあ。・・とは思ったんだよ。すると正美が、「妖の宿のほうがおくわく感があるやろうに」「それも悪くはないが、日常とは、かけ離れた秘境の地だ、ギスギスした都会からの逃避行も心が和むだろ」と今の己の心境を言う。

「・・はあくん、岐阜は都会か？」

「そこは、言うぶんには自由だろう」「しかし、絶景は分かるんやが、そんだけ（の宿へ来るか）」。まだ、妖怪が出るであらう、という話しはしていないから知らないでいる。

「こんな話しが一段落したところへ、奥さんが上がった来て、この下に露天風呂があるの、疲れを落

とされたらと勧められた。ごもつともと、さっそくタオルを持ち、露天風呂をめざして宿の横に造られた石段を降りていった。透き通った川の水の流れる音が心地いい所に、こじんまりとした露天風呂があった。湯加減は少し熱いかなと感じる程度で、熱ければ川の水を入れればいいだけのこと。行雲流水に身を任せ、と言う思いでいると、正美が「最高だぎや、新緑の奥深い山の中に、わし達だけが露天風呂で仲良くのんびりしておる」（なにを言い出す、気持ちわる！）「わしたち二人を誰か描いてくれんかなあ」と言うので、「男ふたりでは絵にはならんぞ」と応えると、「そん

なことあらずか、見てみるあそこで絵を描いてる人がおるやろ」「えっ、どこに？」

「洒落かあ」「しゃれ？」

「言つたつもりはない。言われた方を見ると、ここから少し離れた川原で、おじさん風の人、イーゼルにキャンバスを立てて熱心に筆を動かして、遠くまで風景を描いておられるのであろう。露天風呂で疲れを落とすと、また来た道の石段を上って玄関に入ると、先に来た泊まり客の人たちと顔が合い、お互い挨拶を交わした。見たところ同じような世代の人たちだった。」

(つづく)

風地蔵新聞

久しぶりの九州旅行

鎌澤 宣子

ドラマの前に、のし湯ではかかせない場所「談」のことを書き忘れていました。「談」は、ご主人と大女将こだわりの部屋で、いいこの場所です。

ここには、こだわりの本や、調度品が置いてあります。これまたこだわりの庭を眺めながら、ゆつたり、そこに置いてある本も自由に読んで社長お気に入りの

場所、社長は「のし湯」に帰ると、部屋にはちっとも居ずるに、ここに入り浸っています。今では、隆男さんや、ぼそおやじさん、さくらさんのお気に入り。部屋でもあります。隆男さんやぼそおやじさんは、ここでビールを飲みながらお話ししたり、くつろいでいるそうです。

以前まだリーちゃん、小学生の時だったと思いますが、リーちゃんも2人で本でも読もうと、「談」に行く、社長が「何しに来たの？」

「こんといて」と。「なんでくると」つて

「本を読みに来たんです」というと、「じゃあ本さっさと持って部屋で読んでき」と追い出されたことがありません。

この時は、ここってみんなの場所でしょ、何で追い出されんといかんのよと理不尽さに腹が立ったのを今でも覚えています。

今思うと、それだけ社長にとつてこの部屋は、やすらぎの場所だったんだとわかりました。

社長と大女将は、感性が似ているんだと思えます。置いてある本も、その時に

必要だと思ったもの、信念があつて、その時のその本の中から、ヒントを得た物が置いてあるように感じます。私も大好きな場所です。

温泉に入ったあと、食事のあと、朝起きたときと、必ず足が「談」に向かいます。

ちなみに今回の旅行では、ここでフェイスブックにのせる旅行記をスマホですつと打っていました。

ゆっくり落ちて着いて考えられるので、言葉も出て来やすかったことを覚えてます。

あつ！言い忘れてました、

「談」ではコーヒーも紅茶もセルフサービスです。またコーヒーがおいしいんです。ほどよい苦みと際立つ香り、心も体もホッと

BGMもいいんですよ。耳にスーッと入ってくる心地よい音量です。

風地蔵のなかに、社長がどうしたものか、湯のようにしたかつたスペースがあります。そこは一番奥の庭を眺めながらくつろげるテーブル席のところ、社長こだわりの本棚があります。

ここにきて、少しでも黒川の雰囲気を感じたい、あじわいにいらしてみたい。

最後は風地蔵の宣伝になってしまいましたが、それほどお気に入りの場所でした。今度こそ、次回は朝食と展開するドラマを楽しみにして下さ

第165号

編集 白石美帆  
発行 風地蔵  
〒503-0922  
岐阜県大垣市馬場町85  
ご感想・エッセイ・お持ち物・お歌・お便り  
短歌・俳句・お便り  
短歌・俳句・お便り  
短歌・俳句・お便り



お便りします

五月号の風地蔵新聞... 読ませていただき... うれしかったです。

お便りありがとうございました... 春日市 村山さん

ちよつと立ち話

老老介護は周りには... 凱翔くん。これから... 旅行で食事がおいし

に通すために先生が... 早く生徒の手をつか

風地蔵新聞の原稿が... 届きビツクリ。カイ

学生は本当にビツク... リしました。(大橋)

老老介護、いずれは... 凱翔君、ランチやん

白石家の若旦那 凱... 翔を歓迎してください

父の日

大橋 美紀

今年6月18日が父... 父を思い出すのです。

も、会社の慰安旅行にも... 連れて行ってくれました。

しょうぎのおぢさん... しらいし みほ

川風

てこい！ 結婚6年目の初話題... あれは何年前。

風地蔵の長老に叱られた... こともあった。

春のまちゼミ②

原 由里子

十六銀行の次のまちゼミは、補聴器の宝月堂の「補聴器ってどんなもの？」です。

補聴器は、今のところ必要はないけど、学んでいて損はないと思いい、参加しました。

今回の講座は、定員一組という狭き門。申し込みをしても、断られると思いつきながら電話をかけてみました。やっぱり定員は埋まっていた。無理だろうと思つてかけたので切ろうとしたら、

「11時〜12時までの時間は埋まっていますが、他の時間なら大丈夫です。」と引き留められました。

それならと思い、15時で申し込みが来ました。あとから聞いたのですが、定員一組にしたのは、講座の中で聴覚検査をするんですが、一人づつしか出来ないのです、他の人を待たせるのが申し訳ないからということでした。

今回は時間ギリギリに着き、店内に入ると他にお客様がいる様子なし。私一人のみの完全マンツーマン対面講座です。講師は店長さんと思う男性の方です。

補聴器は130年前、1878年にベルナー・フォン・シーメンスという方が、難聴の従業員とその家族向けに、特別な電話受信機を発明したそうです。それが最初の難聴補聴器だそうなんです。

それから、音響学の最先端を切り開いてきた歴史があるそうです。人は年齢を重ねると聴力が低下していくので、誰にでも起きる自然なことだとか。

加齢性難聴は高音から少しずつ聞こえにくくなつていき、「あ・い・う・え・お」の母音は聞こえるけど子音を聞き取る力が低下していくそうです。例えると1時(いちじ)が7時(しちじ)、広い(ひろい)が白い(しろい)魚(さかな)が高菜(たかな)と聞き間違えそうです。

あと、こんなことはないですか？といただいた冊子に書いてありました。自動車の話ですが、よく聞き取れない。人の話し声が小さいように感じる。まわりの人からTVの音が大きいと言われる。携帯電話が近くにあるのに、呼び出し音に気がつかない。人と会話をするのが面倒に感じる。

聴力の低下は、30代から始まるそうです。耳の構造と役割があります。目に見える耳を耳介、耳垢がたまるところが外耳道と言います。ここは音を集めて方向感を得るところなので、外耳と言います。

その奥に、鼓膜と耳小骨があります。ここで音を伝えます。ここを中耳といい、中耳が炎症を起こすとよく聞く、中耳炎になります。ちなみに鼻と耳はつながっていて、ちょうど中耳の所とつながっているの鼻から水が入って耳に入り、中耳炎になることもあるそうです。

さらにその奥にカタツムリの形をした蝸牛があり、ここで音を感じます。ここを内耳と言います。蝸牛のなかに有毛細胞があり、年齢を重ねると有毛細胞が抜けるそうです。

治すことは出来ないのですが、それが聞こえなくなる原因の一つです。さらにその奥に、聴神経があります。難聴にも種類があります。低音難聴、感音難聴、混合性難聴の3つです。

低音難聴は、中耳炎や、鼓膜の損傷、病気などが原因で、音が伝わりにくくなることによる難聴です。治療も出来、難聴が残る場合は補聴器を使うこともあります。

感音難聴は、加齢や病気が、長時間騒音下にいることなどが原因の難聴です。混合性難聴は、その両方が同時に起こる難聴です。

感音難聴と、混合性難聴は、医学的治療では治らな、補聴器を使いますが、難聴レベルやまわりの状況によつては、補聴器をつけても聞き取りにくい場合もあるそうです。講座の途中、聴覚検査をしました。低い音が少し聞き取りにくいけど正常範囲の健聴。高い音に聞こえては、講師の人が驚くほどのレベルで聞き取れた。超健聴でした。病院で行う聴覚検査は、無音状態で行うようなので、ここよりもっと聞こえると思えますよ。と言われまし。ちなみに聞こえの目安ですが、小さい声や、ささやき声が聞き取りにくい、テレビの音が大きいと言われる方は、軽度25dBH〜40dBHで聞き取れるそうです。普通の会話聞きづらい、自動車がそばに来て始めて気づく方は、中等度40dBH〜70dBで聞き取れるそうです。補聴器を装着する場合、片耳だけが難聴でも両耳の装着が良いそうです。メリットは、自然に聞こえやすい、騒音下でも聞き取りやすい。片耳装用時ほど、音量を上げなくてもよいので、疲れにくく音の方向感が得やすいようです。両耳に音が入るので、聞こえの範囲が左右に広がり、音の場所をとらえやすいそうです。音の方向がわからないと、道路沿いを歩行中などに危険性が高まります。けど、正直、補聴器は高いです。安いのもありますが、それでも44000円のポケット型補聴器というのがあります。けど耳に入れるタイプで、機能や防水・防塵・ナノコーティングで撥水コーティング

「プチ禁酒」

基本的に毎日お酒を飲んでいる。「おいしいお酒」を飲む為、祝杯をあげるのに毎日飲んでいては！と、今更(46歳)にして気づく。それで期間限定禁酒。

願掛けもある。二つの祝杯。ある大手工務店さんの取締役さんにプレゼン。長男の少年野球の大事な試合で打てますように。

超零細庭師がテレビCMもバンバンしている会社の「広告」を、それも対等に作らせていただくことに見事成功。ここで禁酒解禁でもよかったが、長男の為にグッと我慢。と言ってもたった6日間だけ。

結局試合では敗退。父親として勝ち負けはどうでもいい。キャプテンとしてよくチームをまとめたと思う。

で、祝杯！とはいかなかったが無事禁酒解禁。やっぱり旨い。これからも何かあることに、ちょこっと禁酒してみようと思う。

庭師 奥田良樹

細菌の増殖抑制・補聴器をつけたままでシャワーを使っても大丈夫なアクアプロテクトになっていたり、着いていないで値段は変わりませんが、片耳だけで5万円〜5万3200円だそうです。値段が高い補聴器は、新商品で充電が出来ないんです。充電が出来ない補聴器は電池なんです。6個入りで千円。しかも、電池を抜いたとしても使ったら放電し続ける。一番長く使える電池で350時間持つのもあります。けど、どの補聴器に使用しているかは、なかには80時間しか使えないものもあります。ちなみに、350時間は15日間、80時間は3日間と8時間使えると、補聴器という、肌と同じ色で目立たないものをイメージしますが、今はカラーバリエーションも豊富で、赤・ピンク・ブルー・ブラウン・ゴールド・シルバー・シャンパン・パール・ブラックなど。大垣が舞台となった「聲の形」という漫画が

昨年、アニメーション映画になりました。その中に出てくる女の子は、生まれてから補聴器をつけています。その女の子が高校生になってあるシーンの時に、赤い補聴器をつけていました。意外に赤い補聴器が可愛く、イヤリングみたいでファッションの一部みたいに見えました。やっぱりこの映画を見た人から問い合わせがあったそうです。ちなみに赤い補聴器は、お高い補聴器にしかこの色はないようです。補聴器は精密機器で保険がきかない。高い理由です。途中で、ものすごい眠気に襲われるときもありましたが、1時間の講座が終わり、1時間の講座のあと、仕事が終わりの姉と会い、補聴器の話をするのと、「補聴器って高いんやね」と驚いていました。確かに。健康な体、健聴な耳にあらためて感謝しました。次は春のまちゼミ、最後の講座。人形の石川で、次は何を学べるか楽しみです。おわり

昨年、アニメーション映画になりました。その中に出てくる女の子は、生まれてから補聴器をつけています。その女の子が高校生になってあるシーンの時に、赤い補聴器をつけていました。意外に赤い補聴器が可愛く、イヤリングみたいでファッションの一部みたいに見えました。やっぱりこの映画を見た人から問い合わせがあったそうです。ちなみに赤い補聴器は、お高い補聴器にしかこの色はないようです。補聴器は精密機器で保険がきかない。高い理由です。途中で、ものすごい眠気に襲われるときもありましたが、1時間の講座が終わり、1時間の講座のあと、仕事が終わりの姉と会い、補聴器の話をするのと、「補聴器って高いんやね」と驚いていました。確かに。健康な体、健聴な耳にあらためて感謝しました。次は春のまちゼミ、最後の講座。人形の石川で、次は何を学べるか楽しみです。おわり